

# 有 本 建 男 教授

---

役 職：博士課程科学技術イノベーション政策プログラムディレクター  
修士課程科学技術イノベーション政策プログラムディレクター  
科学技術イノベーション政策研究センター（GRIPS SciREX センター）副センター長  
専門分野：科学技術イノベーション政策・政策史、研究ファンディング制度・マネジメント  
学 位：修士（物理化学）、京都大学大学院  
略 歴：1974 年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、科学技術庁入庁。科学技術庁研究振興局科学技術情報課長、原子力局廃棄物政策課長、科学技術政策局政策課長、宇宙開発事業団ロス・アンジェルス所長、海洋科学技術センター企画部長、日本原子力研究所広報部長、理化学研究所横浜研究所研究推進部長、内閣府大臣官房審議官（科学技術政策担当）、文部科学省大臣官房審議官（生涯学習政策担当）などを経て、2004 年文部科学省科学技術・学術政策局長。2005 年内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、2006 年から独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター長、2012 年 4 月本学教授（現在に至る）、（兼）科学技術振興機構上席フェロー。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 図 書

#### ① 共著、講義収録、報告書等

- \* 『科学をめざす君たちへ—変革と越境のための新たな教養』、共著、科学技術振興機構研究開発戦略センター編、慶応大学出版会、2017 年 3 月。
- \* 『21 世紀の科学・社会を支える新たな教養のあり方を考える』、科学技術振興機構研究開発戦略センター編、2016 年 12 月。
- \* 『未来の創造 開学 40 周年版—人類の健康と繁栄に向かって』、講義録、豊橋技術科学大学、日経 BP 社、2016 年 10 月。
- \* 『科学的助言—21 世紀の科学技術と政策形成』、有本建男、佐藤靖、松尾敬子、吉川弘之著、東京大学出版会、2016 年 9 月。
- \* “Scientific Advice: Science, Technology, and Policy Making in the Twenty-First Century”, Tateo Arimoto et.al. University of Tokyo Press, English summary, September 2016.
- \* 「我が国における拠点形成事業の展開—課題と展望」、科学技術振興機構研究開発戦略センター、2016 年 6 月。（総括責任者）。
- \* 「自然科学と人文・社会科学の連携に関する検討—対話の場の形成と科学技術イノベーションの実現に向けて—」、科学技術振興機構研究開発戦略センター、2016 年 6 月。（総括責任者）。

### (2) 雑誌論文

#### ① 単 著

- \* 「SDGs—STI プロジェクト Japan の推進—国連・持続可能な開発目標 2030 アジェンダへの日本の科学技術の寄与」、論説、化学と工業、Vol.70-1、2017 年 1 月、日本化学会。

#### ② 共 著

- \* “Bridging Science and Government: Growing pains at the science-policy interface” by T. Arimoto,

- Y. Sato and K. Matsuo, *ANGLE Journal*, Imperial College, 27 March 2017. (査読あり)
- (3) 学会発表など
- \* パネリスト、“Science, Technology, and Innovation for the Sustainable Development Goals”、Science Diplomacy 2017、American Association for the Advancement of Science (AAAS)、Washington D.C.、2017年3月29日。
  - \* モデレーター、分科会 I 「持続可能な社会への挑戦」、日本産学フォーラム設立 25 周年記念国際シンポジウム「新たな社会に向けて」、東京、2017年2月23日。
  - \* Discussant, “Serving Aging Societies globally through Science, Technology, and Innovation Policies”, AAAS 2017 Annual Meeting, Boston, 2017年2月19日。
  - \* コメンテーター、“How to bridge two different Cultures” “Announcing a New Blueprint for Global Ethics and Principles of Science and Society informed Policy-Making”、Science Forum South Africa (SFSA) 2016、プレトリア、2016年12月8日。
  - \* パネリスト、「いま世界が直面する持続可能な開発目標 (SDGs) 等の課題解決にイノベーションは何ができるか?」、サイエンスアゴラ 2016、科学技術振興機構、2016年11月3日。
  - \* パネリスト、INGSA2016 “The 2nd International Network for Government Science Advice Conference: Science and Policy Making: towards a new dialogue”、Brussels、2016年9月29日。
  - \* パネリスト、“Cool Heads in Crisis: Sound Scientific Advice in Emergencies”、EuroScience Open Forum、マンチェスター、2016年7月26日。
  - \* 基調講演、「持続可能な開発目標 (SDGs) に関する国連 STI フォーラム (第 1 回) 結果について」、「持続可能な開発目標 (SDGs) と科学技術イノベーション」セミナー、科学技術振興機構、2016年7月21日。
  - \* パネリスト、研究・イノベーション学会第 31 回シンポジウム、「Society 5.0 —超スマート社会の実現—を考える」、政策研究大学院大学、2016年7月1日。
  - \* 講演・パネリスト、“Politicians & setting science agendas”、Impact of Science 2016、Network for Advancing & Evaluating the Societal Impact of Science (AESIS)、アムステルダム、2016年6月10日。

## 2. 助成金等による研究

- \* 受託研究：文部科学省「イノベーション経営人材育成システム構築事業」(2016 年度) 研究代表

## 3. 教 育

- (1) 講 義
- \* 科学技術の動向と政策 / Trends of Science and Technology, and Policy (秋学期)
- (2) 論文指導
- \* One-year Master’s Program of Public Policy (MP1) : 修士課程 1 名 (主指導、学位取得)
  - \* 科学技術イノベーション政策プログラム : 博士課程 4 名 (副指導、うち 1 名学位取得)
  - \* 公共政策プログラム : 博士課程 1 名 (副指導)
- (3) 研修事業
- \* タイ公共管理及びリーダーシップ開発研修プログラム (PMLTP)

#### 4. 管理・運営への関与

##### (1) 委員会

- \* 博士課程委員会
- \* 修士課程委員会
- \* 博士課程 科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー
- \* 修士課程 科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー
- \* GRIPS Global Governance Program (G-cube) Committee
- \* 研究教育評議会
- \* 科学技術政策研究会議

##### (2) タスクフォース

- \* GIST プログラム・SciREX センター中期目標・計画検討タスクフォース

##### (3) その他

- \* 博士課程 科学技術イノベーション政策プログラム、ディレクター
- \* 修士課程 科学技術イノベーション政策プログラム、ディレクター
- \* 科学技術イノベーション政策研究センター (GRIPS SciREX センター)・副センター長.
- \* 科学技術イノベーション政策コース (GIST) セミナー：企画実施
- \* SciREX セミナー (科学技術イノベーション政策研究センター)：企画実施
- \* GRIPS International Advisory Committee、意見交換、2017年3月6日
- \* 科学技術外交シンポジウム—科学技術を通じた日本外交の新たな形、2016年5月24日
- \* The 7th EU-Japan Science Policy Forum、2016年10月1日
- \* 第1回科学技術イノベーション政策のための科学オープンフォーラム、GRIPS、科学技術イノベーション政策研究センター (GRIPS SciREX センター)、2017年1月25日。
  - オーガナイザー、「企画セッション：科学と政策のインターフェース 科学的助言の概念と実践」
- \* エビデンスに基づく科学技術イノベーション政策形成のための実務者研修 2、2016年12月1日

#### 5. 社会的貢献 (A)

##### (1) 国および地方公共団体における活動

###### ① 審議会等

- \* 文部科学省：科学技術学術審議会・研究評価部会委員 (2007年～).
- \* 文部科学省・科学技術・学術政策研究所：定点調査委員会委員 (2007年～).
- \* 内閣府：戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)・自動走行システムプロジェクト・副プロジェクトディレクター (2014年～).
- \* 経済産業省・国土交通省：自動走行ビジネス検討会委員 (2014年～).
- \* 外務省：科学技術外交推進会議委員 (2015年～).

##### (2) 他大学・研究所等における活動

###### ① 非常勤講師，研究員等

- \* 同志社大学客員教授 (2005年～)
  - 「科学技術イノベーション戦略」、15コマ/年.
  - 「公共政策Ⅱ」、2016年5月21、28、29日、6月19日、7月10日.

- \* 東京理科大学客員教授（2005年～）「科学文化論」、1コマ／年.
  - \* 早稲田大学客員教授（2008年～）
    - 「理工文化論」、2コマ／年.
    - 「エネルギーネクスト概論」、2016年6月17日.
  - \* 東京大学非常勤講師（2007年～）
    - 「科学技術と社会」、2コマ／年. 「科学技術インタープリター養成プログラム」、2016年12月17日.
  - \* 東京工業大学非常勤講師（2011年～）
    - 「科学技術と社会」、2コマ／年. 「科学技術社会論」、2016年10月26日.
  - \* 京都大学特任教授（2013年～）
    - 「科学技術と社会」、8コマ／年. 「京都大学思修館・熟議Ⅱ前期」、2016年4月16、30日、6月4、25日.
  - \* 兵庫県立大学客員教授（2014年～）「科学技術と社会」（英語）、12コマ／年.
- ② 委員会等
- \* 広島大学経営協議会委員（2007年～）、学長選考会議外部委員（2010年～）、4回程度／年.
  - \* 東京大学政策ビジョン研究センター顧問（2009年～）、1回／年.
  - \* 東京大学フotonサイエンス・リーディング大学院外部評価委員（2012年～）、3回程度／年.
  - \* 東京大学高齢化研究機構外部諮問委員（2012年～）、1回程度／年.
- (3) 企業，財団法人等における活動
- ① 役員，委員会
- \* 本田財団業務執行理事（2011年～）.
  - \* キヤノン財団研究助成選考委員（2009年～）、研究課題の審査.
  - \* 東レ科学振興会評議員（2010年～）.
  - \* 仁科記念財団評議員（2011年～）.
  - \* ロッテ財団研究評価委員（2013年～）、研究課題の審査.
  - \* 武田計測先端知財団・科学技術国際戦略検討委員会委員長（2009年～）、国際政策対話プロジェクト：「アジアにおける科学技術の地域連携」諮問委員会委員（2011年～）.
  - \* 国際高等研究所副所長（けいはんな文化学術研究都市）、21世紀地球社会における科学技術のあり方研究会代表（2015年度～）.
- (4) 学会等における活動
- \* 日本化学会名誉会員（2005年～）.
  - \* 日本工学アカデミー会員（2006年～）、理事・政策委員（2014年～）.
  - \* 研究・技術計画学会会員（2012年～）、副会長（2013～2014年度）、研究イノベーション学会（改組）参与（2015年度～）.
  - \* 科学技術社会論学会会員（2014年～）.
  - \* 品質工学会会員、監事（2014～2016年）.
  - \* 日本パグウォッシュ会議会員（2016年～）.
- (5) その他
- \* OECD「政策形成のための科学的助言」プロジェクト共同議長（2013年～）.

- \* 国際科学的助言者ネットワーク (INGSA) プログラム委員会委員 (2015 年～).
- \* 国連持続可能な開発目標 2030 アジェンダ・第 1 回 STI フォーラム、日本代表 (外務省から依頼).

## 6. 社会的貢献 (B)

### (1) ジャーナリズムを通じた発言

#### ① 印刷メディア (新聞, 雑誌等)

- \* 「国連の持続可能な開発目標」有本建男、科学新聞、1 面、2016 年 7 月 8 日.

### (2) 講演会, 座談会, 会議出席

- \* パネリスト、「Providing Science Advice during a Crisis」、International dialogue on integrating science and technology advice into foreign ministries (各国外務大臣科学技術顧問会議)、Laxenburg/Vienna、オーストリア、2016 年 10 月 19 日.
- \* 講演、「Automated Driving System」、Seminar on the Japanese Science and Technology Policy toward Innovation、在ウィーン国際機関日本政府代表部、2016 年 10 月 17 日.
- \* 講演・パネリスト、ケンブリッジ大学工学部、「2016 Babbage Symposium」、2016 年 9 月 23 日.
- \* 講演、JST 戦略的イノベーション創出推進プログラム (S-イノベ) シンポジウム、「高齢者の自立を支援し安全安心社会を実現する自律運転知能システム」、東京大学工学部、2016 年 9 月 8 日.
- \* 話題提供者・コメンテーター、研究・イノベーション学会イノベーションフロンティア分科会「社会と科学の関係における研究の意義とシナリオ」、科学技術振興機構、2016 年 6 月 23 日.
- \* 講演、「これからの日本が期待する大学院」、岡山大学、2016 年 5 月 19 日.
- \* 講演、東京大学大学院横断型教育プログラム「科学技術イノベーション政策の科学」、東京大学、2016 年 4 月 6 日.